



労働力確保支援 センターだより

第26号

発行：公益社団法人
福島県森林・林業・緑化協会
〒960-8043
福島市中町5番18号
(福島県林業会館内)
TEL 024-521-3270
FAX 024-521-3246
平成27年2月発行



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.



高性能林業機械実践研修会（場所：いわき市三和町）

目次

福島県の林業労働力の現状……………	2	森林作業道作設研修会を開催……………	6
雇用管理研修会を開催……………	3	高性能林業機械実践研修を開催……………	7
雇用定着への取り組み「緑の雇用」集合研修…	4	森林の仕事ガイダンス2015に参加……………	8
就労者のキャリア形成に向けての取り組み…	5	福島県認定事業体一覧表（流域別）……………	9
森林再生研修会を開催……………	6	認定事業体現場作業員採用計画……………	10

福島県の林業労働力の現状

本県の林業就業者は、昭和35年度は14,236人でしたが、その後減少し続け平成22年度には2,181人と当時の約15%に減少しています。

平成24年度の森林組合の作業員班数は、635人で平成20年度の519人に対し1.22倍と増加しています。

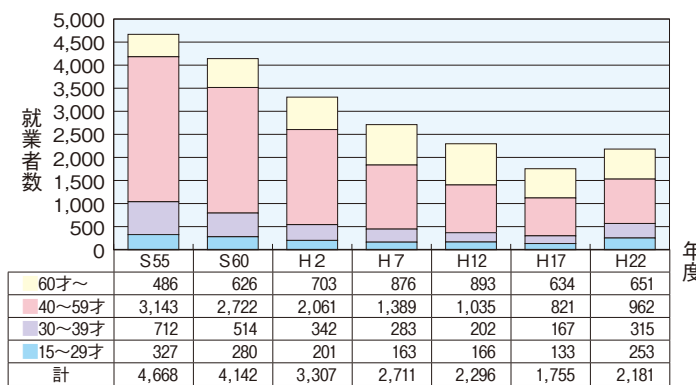
さらに、60歳以上の作業班員は、平成20年度214人に対し平成24年度287人と1.34倍に増加し高齢化が進んでいますが、一方、40歳未満の作業班員数も平成20年度の89人から137人と1.54倍に増えており、増加傾向で推移しています。

若年者増加の要因として、全国で『緑の雇用』の事業が実施されていることが挙げられます。(平成15年度～平成23年度の9年間で約1万3千人の就業者を創出)

また、林業労働の軽減、生産性の向上に欠かせない高性能林業機械の保有状況は、平成20年3月末の118台から4年後の平成24年3月末には、1.78倍の210台に増加しており、顕著な傾向が見られます。

今後も林業の持続的かつ健全な発展のため、事業体の雇用管理の改善、林業の担い手の確保・育成が重要な課題となっています。

福島県の林業就業者の年度別年齢階層別就業者数の推移



造林作業を実習中の研修生

資料：(国勢調査、平成25年(平成24年度)福島県森林・林業統計書、平成25年度森林林業白書)

最近の福島県の雇用情勢から

本県の求人求職状況は、東日本大震災後、求人が求職者数を大幅に上回る状況にあります。

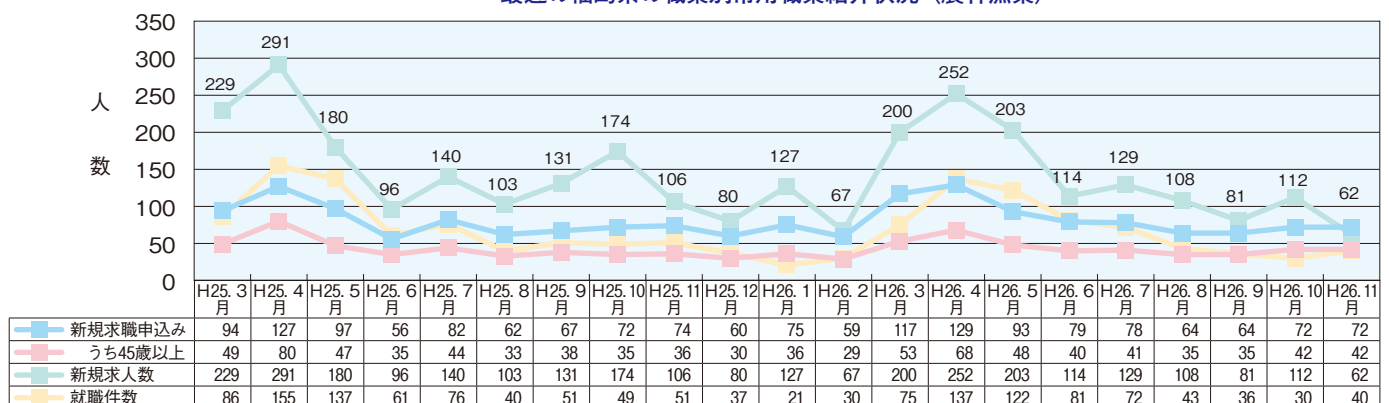
全職種の9月の有効求人倍率は1.43倍で全国4位、就業地求人倍率は1.69倍で連続して全国1位となっています。

農林漁業での新規求人数は、年度を挟んだ3月から5月に大きなピークがきており、就職件数も連動しています。

また、農林漁業の特徴的な傾向として、25年4月～6月や26年4月～6月のように、新規求職申込みより就職件数が上回ることが挙げられます。

資料：(福島労働局職業安定部「雇用失業情勢」)

最近の福島県の職業別常用職業紹介状況(農林漁業)



雇用管理研修会を開催

平成26年11月17日、福島県建設センター（福島市）で事業主や雇用管理者を対象とした雇用管理研修会を開催しました。

参加者34名の参加により「雇用の定着」をテーマに3名の講師に講義をいただきました。

はじめに福島労働局職業対策課長狩野幸氏に『最近の雇用情勢・福島労働局の取組について』と題して、本県の求人求職状況や地域別有効求人倍率では相双2.53倍、会津若松1.19倍で、農林漁業全体では1.13倍であること、今年度の高卒者の就職内定率は58.3%で前年比13.1ポイント上昇し、22年前の数値に非常に近く、また、男女別では、男子62.9%、女子52.0%であるとのことのお話をいただきました。

次に社会保険労務士法人 TMC 代表社員の岡部正治氏の『林業就業者の定着のために「事業主」がなすべきこと』として、人がほしいときは足を使ってハローワークに頼み込み、逆指名するとマッチングすることがある。一人親方の特別労災の加入促進、雇用保険の有効性、定着のための「緑の雇用」の有効性、人材確保は仕事が増えてからの手当ではなく先手を打つこと、経営者がきちんと目標を持ってそれを従業員に伝えることが大事、などのお話をいただきました。

最後に、(株) TMC 経営支援センターキャリアコンサルタント三村貴夫氏による『林業就業者のためのコミュニケーション力アップ研修』と題して、職人気質も必要だが、コミュニケーション力も大事で、ヤル気、能力の発揮できる職場づくりが重要との話の後、主に社員を四つのタイプ（コントローラー・プロモーター・アナライザー・サポーター）に分け、そのタイプに応じたコミュニケーションの取り方が必要とのことのお話をいただきました。



研修中の参加者



福島労働局職業対策課長
狩野 幸氏



社会保険労務士法人 TMC 代表社員
法学修士・特定社労士 岡部正治氏



(株) TMC 経営支援センター
キャリアコンサルタント 三村貴夫氏

<トピックス>

雇用管理改善モデル支援事業について

林業雇用改善促進事業で今年度を実施した事業で、雇用管理の改善を希望する事業体を選定し、社会保険労務士と共に問題解決を行いました。

計3回の相談では、作業員の定着、就業規則、雇用通知書、雇用契約書、賃金台帳などで相談を受け、社労士から有効で的確な助言・指導を受けることができました。

雇用定着への取り組み「緑の雇用」集合研修

◎緑の雇用とは

「緑の雇用」現場技能者育成対策事業は、国（農林水産省）の助成事業で、未経験の方でも森林の仕事に就き、必要な技術を学んでもらうために、改善計画の認定を受けた林業事業体（森林組合や民間の造林会社、素材生産会社等）に採用された人に対し、講習や研修によりキャリアアップを支援する制度です。

◎「緑の雇用」研修生になるには

研修生の要件としては、必要な技能が身についていない方（林業就労経験2年未満）で研修を受ける必要がある方、林業の仕事がある程度理解した上で林業に就労したい方、ハローワーク等に求職申請をするなど林業に就業活動をしている方、林業事業体に採用される方、研修終了後5年以上働ける方（60歳未満くらい）となっています。

具体的な研修受講の手続きは、本県では、福島県森林組合連合会、磐城林業協同組合、福島県林業労働力確保支援センターが各々行っています。

◎集合研修とは

集合研修は、資格取得のための講習や造林・育林、森林調査・測量、かかり木処理、チェーンソー伐倒、間伐作業、作業道作設、現場管理、安全衛生管理、高性能林業機械の実践など多岐にわたります。

今年度の研修期間は、1年生が31日間、2年生が17日間、3年生が21日間で、労働力確保支援センターが、企画運営を行いました。

なお、平成26年度の研修生は81名で、参加事業体は38事業体となっています。



刈払機メンテナンス（1年生）



育林（刈払機）実習（1年生）



チェーンソー伐倒（1年生）



ワイヤーロープの扱い方実習（2年生）



林業機械メンテナンス実習（3年生）



製材工場視察（3年生）

就労者のキャリア形成に向けての取り組み

林業就業者の定着を促進するためキャリア形成に必要な知識等を習得するための研修会として「森林づくり研修会」「林業人材育成研修会」を開催しました。

森林づくり研修会

平成26年11月7日、三重県津市美杉町在住で林業家の三浦妃己郎（きみお）氏に『映画 WOODJOB！に関わった私の林業経営』と題して講演をいただきました。

参加者は29名で、映画撮影に至る経緯では、多くの候補地から選ばれた理由が、棚田などの自然景観や人とのつながりであったこと、自身が経営する「三浦林商」は、間伐主体ですが雇用の安定のため製材加工販売なども手がけていること、2012年に立ち上げた「NPO 法人もりずむ」では、葉がらし乾燥・新月伐採・トレーサビリティの取り組みをしていること等、多岐に亘りお話をいただきました。

将来展望は、林業の多様化で、「半林半商」が理想とのことでした。

映画で使われた丸太のコンロや同じ機種チェンソー、ヘルメット、シナリオなども持参され、受講生は興味深く説明を受けていました。



三浦妃己郎氏（最右側）と研修参加者



展示物の説明をする講師（右から2人目）

林業人材育成研修会



林業白書を広げて話をする葛城奈海氏



体幹を鍛えるで実技指導する
葛城奈海氏と研修生

平成26年12月3日、やおよろずの森代表、女優で林政審議委員の葛城奈海氏による『体幹を使う事故防止技術と最近の林業情勢・特色ある地域の取り組みについて』等のテーマで、18名の参加により開催しました。

講演では、①「先人達に学ぶ」として、天然林ではない明治神宮の杜、偶然出会ったトトロの森での米作り、江戸時代に学ぶ究極のリサイクル、リユース等の話を、②「森林林業取材を通じて感じたこと」では、チェンソーアートに取り組む緑の研修生、勢いのある事業体の特徴として風通しがよく、ざっくばらんな事業主の存在、受け継いできた文化（宝）の意識化、技術だけでなく自然観の継承についての話をされました。

③「課題」では、後継者の育成を一番に挙げ、継続して新たな研修に取り組む広島県のこと、そのほか鳥獣害対策、公共建築物木造化などのお話をいただきました。

林政審議委員でもある講師は、林業白書にも携わり、伊勢神宮の式年遷宮の掲載にかかわるエピソードなど、機知に富んだお話を伺いました。

後半は、実際に体を使った事故防止のための体幹の使い方について実技指導をいただきました。

森林再生研修会を開催



林野庁山口 孝氏（最奥）と参加者



現地で樹種の違いによる表土流出を説明する
森林総合研究所 赤間亮夫氏（中央最前）

放射性物質に汚染された森林の再生に必要な知識等を得るための研修として、57名の参加を得て、白河市の県行造林地等で平成26年10月9日に開催しました。

森林総合研究所 赤間亮夫氏は、『森林内の放射性物質動態に関する最新の知見』と題し、セシウム分布の経年変化や森林からの流出等のお話をいただきました。

林野庁の山口孝氏からは、『森林における放射性物質の影響低減及び拡散防止技術開発の取組について』と題し、木材の種類別部位別のセシウムの経年変化や流出拡散には土砂の移動を抑えることが重要、林床被覆による遮蔽では一定の効果がみられたこと等のお話をいただきました。

福島県森林整備課の宗方主任主査からは、『ふくしま森林再生事業の取組について』と題し、震災後の森林整備は平成25年度実績で平成22年度の54%減の面積で、回復していないこと、放射性物質対策の事例などについて説明を受けました。

現地研修は、ふくしま森林再生事業の実施状況について、県の担当者から説明を受け、作業道や簡易丸太柵の配置作設状況、スギ・ヒノキの間伐の実施状況、間伐材の搬出状況、植栽作業の方法を研修しました。

森林作業道作設研修会を開催

平成26年11月18日から21日の4日間、効率的な素材生産システムの基盤である丈夫で簡易な森林作業道の作設のための研修会を、石川郡石川町で開催しました。

対象は、初級研修修了者または一定以上の経験と技術を有している方で、さらに土木技術を向上させたいというフォローアップ研修で、4名の方が受講しました。

座学として、「研修教材2014 森林作業道づくり（暫定版）補助教材 急傾斜地やぜい弱地等での作設」を学んだ後、現地で、踏査を行った後、土工の基本技術として、切土・盛土、天地返し、締固め、伐根処理を、簡易構造物として丸太組工1箇所や丸太横断溝2箇所を設置しました。

また、路盤整形、法面整形を行い、出来形延長（L=145m）を測定しました。



路盤整形中の研修生



丸太組工を設置中の講師・研修生



丸太横断溝工設置中

高性能林業機械実践研修を開催

高性能林業機械による効率的な素材生産システムの習得のための研修会を、安達郡大玉村の「フォレストパークあだたら」及び「いわき市三和町差塩国有林」にて、平成26年8月26日（火）から28日（木）にかけての3日間で開催しました。

参加者は21事業体、27名（延べ79人）でした。

1日目は室内研修として、

- (1) 高性能林業機械の概要（種類）について
- (2) 安全な作業のために～災害事例紹介及び対策～
- (3) 高性能林業機械の構造と保守・点検・管理の方法

2日目・3日目は、現地研修として、以下の実習を行いました。

- (1) スイングヤーダの索張り研修（全員）
- (2) 4班にわけての実機操作研修として、以下の作業をローテーションを組んで行いました。
 - ① プロセッサによる造材作業
 - ② スイングヤーダによる集材作業
 - ③ グラップル付フォワーダによる集材・運搬作業
 - ④ 実機を使用したメンテナンス作業（オイル交換等）
- (3) スイングヤーダ索張り撤去（全員）



災害事例紹介及び対策（グループ討議）



スイングヤーダの索張り実習



スイングヤーダの操作実習



プロセッサによる造材作業実習



フォワーダによる操作実習



メンテナンス実習



防護柵を装備した林業機械

<トピックス>

車両系木材伐出機械の危険防止設備の整備

労働安全衛生規則の改正（平成26年6月1日施行、経過措置で、平成26年12月1日より施行）に伴い、規則で定める車両系木材伐出機械（ハーベスタ・グラップル・スイングヤーダ等）の防護柵等・前照灯・ヘッドガードの危険防止設備の装備が、義務化されています

「森林の仕事ガイダンス2015」に参加

全国森林組合連合会主催で、林業に関心のある方に、森林の仕事を紹介する「森林の仕事 ガイダンス 2015」が、平成27年1月31日（土）、東京都の東京国際フォーラムにおいて開催されました。

今年度は、都道府県ごとにスローガンを掲げ、本県は「福島
の森林再生に、あなたの力を！」と銘打ち、本県ブースに来られた方々に説明や相談等を行いました。

大阪・名古屋に引き続いての東京会場には、26都道府県のブースが設けられ、主催者発表で1,145名（昨年1,008人）の相談者が訪れました。

本県では、31名（昨年28人）の相談があり、本県の概況や森林林業の特徴・現状・課題、認定林業事業体数や採用予定の状況等について情報を提供し、本県への就労を勧誘しました。

このほか、緑の研修生交流ブースやハローワーク相談ブース、展示コーナーやオリエンテーションコーナーなどに沢山の来場者がおおいでになっていました。

また、緑の研修生によるトークショーも開催されました。



緑の研修生トークショー



緑の研修生交流ブース



本県ブースの相談状況

受付シートの取りまとめ結果

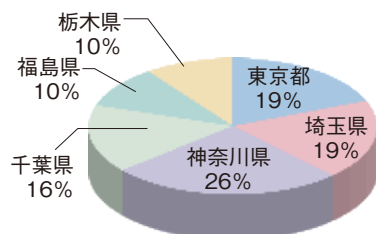
相談者の多くが関東圏在住で割合は90%でしたが福島県からも相談者が来られました。

年齢別では30代が最も多く、20代40代の順になっています。

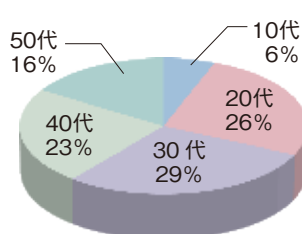
男女別では、男性87%、女性13%でした。

参加した方の職業別では、会社員が58%、学生23%、離職中10%の順になっています。

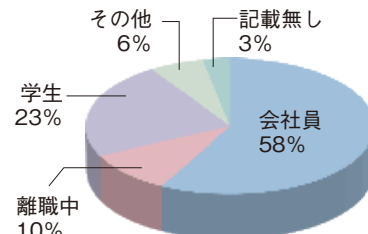
居住地別相談者数



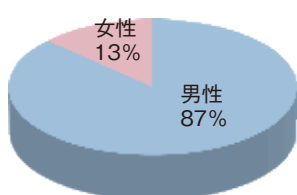
年代別相談者数



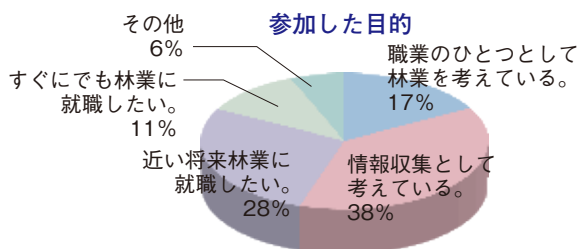
職業別相談者数



男女別相談者数



参加した目的



福島県認定事業体一覧表(流域別)

H27.1現在

番号	事業体の名称	所在地	TEL
阿武隈川流域			
1	1 福島県北森林組合	福島市岡部字前田137-1	024-534-9015
2	2 (有)武田林産	二本松市小関105	0243-24-2819
3	3 安田林業(株)	安達郡大玉村大字山字宮ノ前21	0243-68-2220
4	4 吾妻造林(有)	福島市町庭坂字湯町17	024-591-1322
5	5 (有)鈴木商事	石川郡古殿町大字松川字小名沢1	0247-53-3174
6	6 (有)松崎産業	石川郡平田村大字永田字堂作112-3	0247-55-2076
7	7 ふくしま中央森林組合	田村郡小野町大字小野新町字知宗59-2	0247-71-0755
8	8 郡山市森林組合	郡山市逢瀬町多田野字本郷228	024-957-2850
9	9 (有)関根農林	石川郡平田村大字西山字川向1	0247-54-2313
10	10 田村森林組合	田村市常葉町西向字堂ヶ入62-7	0247-67-1101
11	11 (有)大須賀林業	岩瀬郡天栄村大字牧之内字惣五郎4	0248-29-8613
12	12 (有)星林業	岩瀬郡天栄村大字田良尾字鹿野3	0248-84-2307
13	13 (有)水野林興	石川郡古殿町大字大久田字越代139	0247-53-3860
14	14 (株)アメリカ屋	郡山市田村町徳定字下河原58	024-944-4990
15	15 西白河地方森林組合	白河市市旭町1-244-1	0248-24-1037
16	16 大屋林業(有)	白河市大信限戸字赤仁田1-111	0248-46-3591
17	17 白米林業企業組合	白河市市会津町93-8	0248-29-8991
18	18 (有)三和造林	西白河郡西郷村大字鶴生字虫井ヶ原115-3	0248-25-6066
19	19 株式会社ミツマグリーンプロジェクト	白河市大信下新城字北山61-1	0248-54-5115
奥久慈流域			
20	1 (有)陣野林業	東白川郡棚倉町大字北山本字居伝金288	0247-33-5153
21	2 真名畑林業(有)	東白川郡塙町大字植田字森戸68-1	0247-43-3331
22	3 協和木材(株)	東白川郡塙町大字西河内字鶴巻田10	0247-43-0272
23	4 (有)ウッド福生	東白川郡塙町大字片貝字兎田44	0247-42-2409
24	5 (有)東白林業	東白川郡棚倉町大字棚倉字中居野179-1	0247-33-6939
25	6 東白川郡森林組合	東白川郡棚倉町大字棚倉字南町100-2	0247-33-2161
26	7 (有)本郷林業	東白川郡鮎川村大字赤坂東野字戸草298-1	0247-49-2420
27	8 (有)諸橋林業	東白川郡鮎川村大字赤坂東野字戸草23-2	0247-49-2422
28	9 (有)田部林業	(戸稼事務所) 東白川郡矢祭町大字戸塚字太子沢21-3	0247-57-5675
29	10 (有)スズキ木材	東白川郡棚倉町大字戸中文字川前217	0247-35-2324
30	11 (有)いしぐろ	東白川郡塙町大字塙字宮田町16-8	0247-43-2940
31	12 (株)池田林業	東白川郡塙町大字那倉字矢塚1	0247-42-2427
会津流域			
32	1 (有)六和林業	耶麻郡猪苗代町大字磐里字島田1955	0242-62-3072
33	2 栗城林業(株)	大沼郡会津美里町字東川原3250	0242-54-7100
34	3 (有)佐藤林業	会津若松市湊町大字原字高坂153	0242-96-1370
35	4 (株)ノーリン	喜多方市慶徳町山科字宮前4780-7	0241-24-2300
36	5 会津北部森林組合	喜多方市市字舞台田3128-8	0241-22-1136
37	6 西会津町森林組合	耶麻郡西会津町尾野本字樋ノ口原乙1460	0241-45-2779
38	7 会津若松地方森林組合	会津若松市城前2-3	0242-26-2355
39	8 (有)斉藤造林	喜多方市熊倉町雄国字八木沢道中乙562	0241-25-7021
40	9 会津西部林業(有)	大沼郡会津美里町吉田字村中甲173	0242-53-2408

番号	事業体の名称	所在地	TEL
41	10 (有)川島林業	大沼郡会津美里町東尾岐字村中乙10948	0242-53-2701
42	11 布沢造林(有)	南会津郡只見町大字大倉字広田面1500-24	0241-86-2334
43	12 (有)共和林業	南会津郡下郷町大字大内字沼山488	0241-68-2915
44	13 只見町森林組合	南会津郡只見町大字只見字町下2591-30	0241-82-3120
45	14 田島森林組合	南会津郡南会津町田島字後原3586-1	0241-62-1143
46	15 (株)ヤマシ	南会津郡只見町大字小川字下村79	0241-84-2573
47	16 下郷町森林組合	南会津郡下郷町大字豊成字下モ6276	0241-67-3310
48	17 和泉田造林組合	南会津郡南会津町和泉田稲場5542	0241-73-2330
49	18 佐藤造林	南会津郡南会津町静川字風下甲45	0241-62-2766
50	19 山星林業(株)	南会津郡南会津町田島字田部原159-5	0241-62-3139
51	20 (株)館岩工務所	南会津郡南会津町松戸原223	0241-78-2224
52	21 伊南村森林組合	南会津郡南会津町小塩字上三原80	0241-76-2103
53	22 館岩村森林組合	南会津郡南会津町松戸原51	0241-78-2006
磐城流域			
54	1 (有)大和田	双葉郡浪江町権現堂字本城11-2	0240-35-2247
55	2 (有)鈴木林業	南相馬市原町区南町3-53	0244-23-2366
56	3 千葉製材所	南相馬市原町区牛来字穴田42-1	0244-22-8111
57	4 吉田林業(株)	双葉郡葛尾村大字落合字大放100	024-983-7286
58	5 (有)ハヤマ森業	相馬郡飯館村八木沢字上八木沢110	0244-42-0102
59	6 松山林業(有)	相馬市東玉野字町裏139-1	0244-34-2108
60	7 (有)浪江愛林	双葉郡浪江町大字川添字南大坂57-12	0240-34-5259
61	8 (有)国見グリーンパワーズ	南相馬市原町区大原字阿弥陀堂28	0244-23-4923
62	9 (有)志賀林業	双葉郡川内村大字下川内字道ノ下30	0240-25-8484
63	10 双葉地方森林組合	(暫定事務所) 田村郡三春町大字芥ヶ沢字深作130-2	0247-73-8070
64	11 特定非営利活動法人自然環境応援団	南相馬市鹿島区上板窪字瀬ノ沢20-1	0244-26-3917
65	12 (株)緑樹	双葉郡川内村大字上川内字町分314	0240-25-8806
66	13 いわき市森林組合	いわき市平字正内町107-3	0246-23-1599
67	14 常磐林業(株)	いわき市泉町下川字田宿187	0246-56-1222
68	15 (有)平子商店	いわき市遠野町入遠野字白鳥132	0246-89-2066
69	16 (有)丸信林業	いわき市川町前下桶売字荻91	0246-48-4878
70	17 (有)中崎林業	いわき市小川町塩田字尾ノ内127	0246-83-1864
71	18 (有)井出林業	いわき市田人町貝泊字井出102	0246-62-4590
72	19 (有)豊田林業	いわき市田人町旅人字前山1	0246-68-3021
73	20 (有)近野林業	いわき市勿来町大高広時1	0246-65-2974
74	21 國生興産(有)	いわき市小川町柴原字桐ヶ岡48	0246-83-0731
75	22 いわき愛林(株)	いわき市小川町上小川字片石田111-1	0246-83-2560
76	23 磐城造林(株)	いわき市勿来町関田宮前36	0246-65-4141
77	24 (有)松本林業	いわき市小川町関場字前田78	0246-83-0548
78	25 遠野興産(株)	いわき市遠野町根岸字石田44-3	0246-89-2172

〔認定林業事業体とは〕
林業労働者を雇用して、造林、保育、伐採その他の森林施業を行い、改善の計画を履行する意欲と能力を有する事業主が、「福島県林業事業体改善計画認定要領」に基づき「雇用管理の改善と事業の合理化についての計画（改善計画）」（5年間）を作成・申請し、県知事の認定を受けると認定事業主になります。